

【調査資料】

20代～40代の主婦800名に聞く、 「主婦のお掃除実態調査」

主婦の4割を占める「おそうじブルー」

主婦の64.2%がお掃除を義務だと感じ、56.2%がお掃除にストレスを抱えている
「おそうじブルー」脱却には、便利な掃除道具と方法、そして家族の愛

株式会社ダスキン（本社：大阪府吹田市、社長：山村輝治）は1963年にお掃除の会社として創業しました。今年で50周年をむかえるにあたり、現代主婦のお掃除傾向を探るため、関東・関西在住の主婦800人を対象に、

「主婦のお掃除実態調査」を実施しました。本調査によって、多忙な日常を過ごす主婦層が、お掃除に対して大きな悩みを抱えており、「お掃除」は「義務」であると回答し、かつ「することにストレス」を感じていると答え「おそうじブルー」層が全体の4割に達するなど、さまざまな実態が明らかになりました。

資料構成ご紹介

- P.1 「主婦のお掃除実態調査」調査概要
- P.2 主婦たちのお掃除実態
- P.3 主婦たちのお掃除意識
- P.4 主婦を襲う「おそうじブルー」とは？
- P.5 「おそうじブルー」解決に向けた可能性について
- P.6 【ご参考】陥っていないか診断！「おそうじブルーチェッカー」

「おそうじブルー」の定義について：

「義務感あり・なし」「ストレスあり・なし」と2つの設問を用いて全体を4区分。うち「義務感あり」「ストレス有り」と回答した主婦たちが全体の41.5%（332名）と最大数を占めることから、彼女たちを「おそうじブルー」と命名し、全体との比較をおこないました。

「主婦のお掃除実態調査」調査概要

- 実施時期 2012年12月1日(土)～12月2日(日)
- 調査手法 インターネット調査
- 調査対象 関東(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)および関西(大阪府、京都府、兵庫県)の夫と子ども(高校生以下)を持つ20代～40代の女性
- サンプル数 800名(専業主婦400名 有職主婦400名)

全体総括

■日本の主婦にとってお掃除は「理想はしっかりやりたいが、実際はできてない」もの

毎日お掃除をする主婦は全体の3割程度ですが、育児や料理などの家事労働の中では、その優先順位は最も低くなっています。毎日すみずみまでお掃除する「きちんと派」が理想ですが、実際の「きちんと派」はわずか6.8%と理想と現実の間には大きなギャップがあります。

■主婦にとってのお掃除はストレスフルな家事労働

お掃除をやらなければいけない「義務」と感じている方が64.2%と大半を占めています。やるべきことが出来ないという理想と現実のギャップからか、主婦の半数以上がお掃除に「ストレスを感じる」(56.2%)と答えており、「お掃除をする時間がない」「やっても感謝されない」などの声も上がっています。

■お掃除のほかに優先することが増えており、主婦は毎日忙しい

家事の中でお掃除の優先順位は最も低く、「お掃除」を優先順位第1位としてあげた主婦は僅か1.4%でした。また、お掃除の手抜きや省略をするのは、「疲れているとき」(65.2%)がトップですが、育児・習い事・病気などの「子どもの用事で忙しいとき」(64.7%)や、料理・洗濯・買い物などの「他の家事が忙しいとき」(59.1%)と続き、忙しさが手抜き掃除の大きな要因となっています。せっかく手抜きをしても、得られるのは「解放感」(17.0%)ではなく、「後悔・不快感」(38.6%)。現代の主婦たちは、お掃除にゆっくり時間が割けないほど、さまざまな用事に追い立てられていますが、掃除で手を抜いても気持ちは晴れないようです。

■「家族のため」孤軍奮闘する主婦のお掃除ライフ、本音は「家族に参加して欲しい」

お掃除は「主に自分ひとりで行う」と大半(78.9%)が回答する一方、お掃除の目的は「家族が快適に過ごすため」と8割以上が回答(82.9%)。本音を言えば「家族にも参加して欲しい」(80.1%)との声も。

■お掃除を「義務」と思い頑張りも、「ストレス」に悩む「おそうじブルー」層は全体の4割！

今回の調査結果から、お掃除を「義務」と捉えつつも「ストレス」を感じていると回答した「おそうじブルー」層の主婦は、全体の41.5%にもものぼることが判明しました。「おそうじブルー」層は、お掃除が「好きではなく」(62.4%)「苦手」(69.3%)ですが、「家族の健康のために」(82.5%)お掃除に励んでいる、健気な主婦たちです。

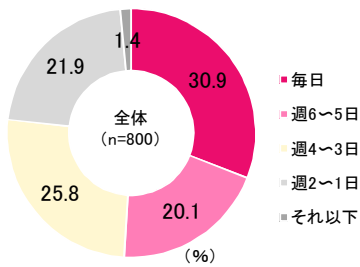
■お掃除は優先順位が低い家事。

きちんとやりたいと思っているものの、実際にはできないギャップアリ

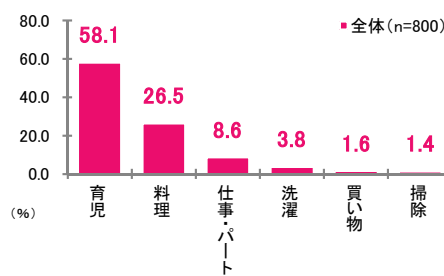
「毎日」お掃除をしている主婦は3人に1人(30.9%)【グラフ1】。

家事の中でお掃除の優先順位は低く、最も重視する家事として「掃除」をあげた主婦は僅か1.4%でした【グラフ2】。理想のお掃除スタイルを聞くと、毎日きっちり時間を確保しすみずみまでキレイにする「きちんと派」(42.3%)が最も多くなっていますが、ふだんから「きちんと派」のお掃除をする主婦は6.8%と現実には最下位。実際のお掃除スタイルは、ホコリや汚れが気になったらその場でさっとキレイにする「ちょこちょこ派」(39.5%)か、キレイにするポイント・場所を決めて取り組む「メリハリ派」(30.3%)が主流です【グラフ3】。

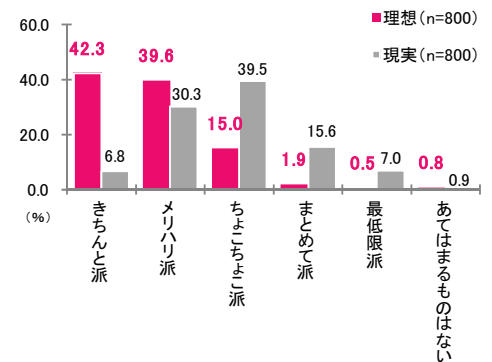
【グラフ1】お掃除の頻度



【グラフ2】最も優先する大事な家事



【グラフ3】お掃除の理想と現実

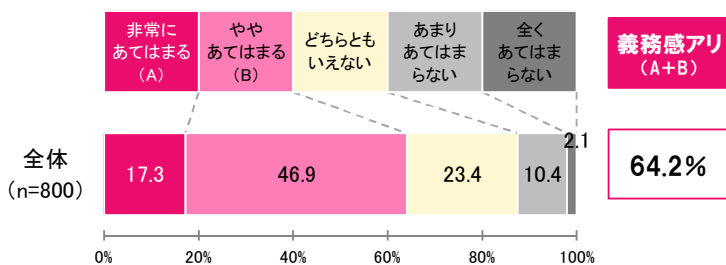


■お掃除は「やらなければいけない義務」、なのに十分できない…。

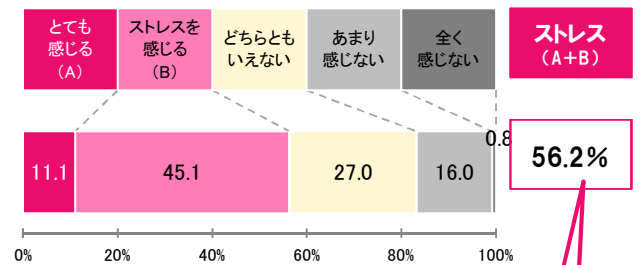
「やらなきゃいけないのにできない」結果、お掃除はストレスフルな家事労働に

お掃除はしなくてはならない「義務」(非常にあてはまる17.3%+ややあてはまる46.9%=64.2%)とまじめに捉えている【グラフ4】ものの、お掃除をしたい、しなればと思いつながら十分にできていないのが現実。やらねばと思いつながらもできないことが、ストレスの大きな要因になっているようです。事実、約6割の主婦がお掃除に「ストレスを感じる」(とても感じる11.1%+感じる45.1%=56.2%)と答えています【グラフ5】。

【グラフ4】お掃除への義務感



【グラフ5】お掃除ストレス



●ふだんのお掃除でストレスに感じること

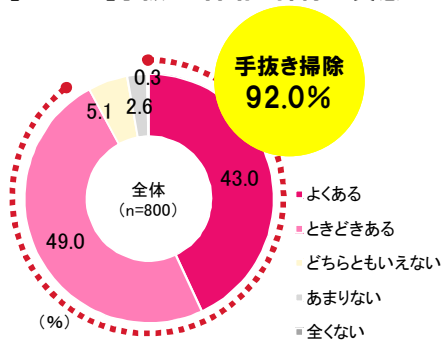
- 片付けたのに全然やってないと言われる。綺麗にしたのに気付いてもらえないし、感謝もされない(20代専業主婦)
- 汚れが気になったり目につくところに埃が落ちているのに、時間がなくて掃除ができないことにストレスを感じる(20代有職主婦)
- そもそも掃除が嫌い。子供をおんぶして、もう一人を遊ばせながらの掃除になるから、毎日ストレスを感じる(30代専業主婦)
- 疲れていて掃除をしているとき、夫がまったく手伝ってくれず、テレビを見ているとき(30代有職主婦)
- 掃除をして当り前のように思われている。キレイが当たり前と思ってほしくない。手伝ってほしい(40代専業主婦)
- 掃除をする時間がない(40代有職主婦)

■家事や子育て、そして仕事にも追われて、忙しい毎日を頑張る主婦たち

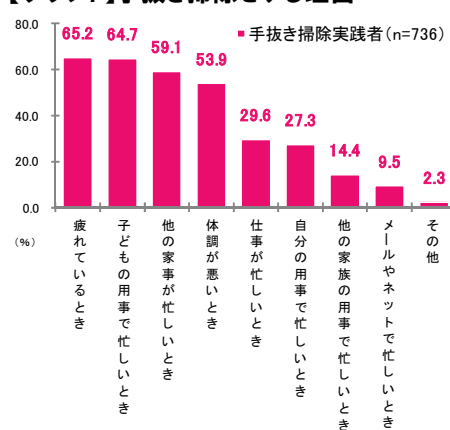
他の用事を優先して手抜き掃除をしても、解放感より「後悔や不快感」が残るだけ…

主婦たちがストレスに感じている家事労働・お掃除。実は9割の主婦がお掃除の「手抜きや省略をしてしまう」(よくある43.0%+ときどきある49.0%=92.0%)と答えています【グラフ6】。この「手抜き・省略」の理由として、「疲れているとき」(65.2%)に加え「子どもの用事」(64.7%)、「他の家事が忙しい時」(59.1%)などがあがっており、自分の用事でさぼっているわけではなく、やはり「家族に関すること」や「しかたなく」手抜きや省略をしてしまうことが伝わります【グラフ7】。しかし、手抜きや省略したお掃除をすると、さぼれて気が楽になり「解放感」(17.0%)を感じると答えた主婦は2割に満たず、したくてもできなかった「後悔・不快感」(38.6%)を感じる主婦が最も多くなっています【グラフ8】。疲れている、忙しいからといって手抜きしても後悔が残る。主婦にとってのお掃除は肉体的疲労だけでなく、たとえ「休んでも」精神的に疲弊させる、家事労働となっているようです。

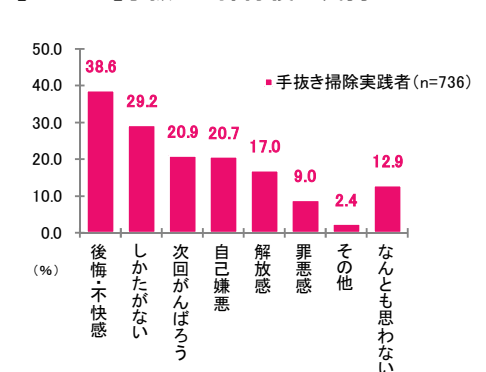
【グラフ6】手抜き・省略お掃除の実態



【グラフ7】手抜き掃除をする理由



【グラフ8】手抜きお掃除後の気持ち

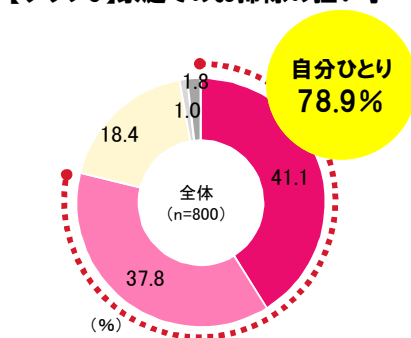


■自分ひとりで、「家族が快適に過ごして欲しい」とお掃除する主婦たち

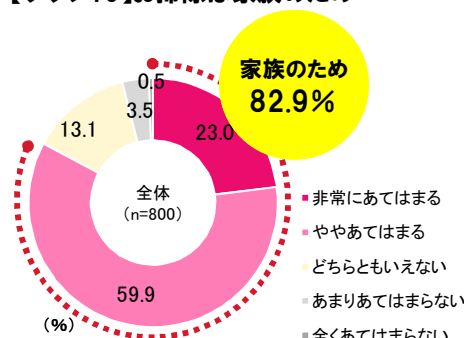
「家族にも参加して欲しい」のが主婦の本音

家庭のお掃除は誰がやるのかを聞くと、「ほとんど自分がしており、家族がすることはほとんどない」(41.1%)、「主に自分が担当しているが、ときどき家族が手伝う」(37.8%)となり、家庭のお掃除は主婦が「自分ひとりで」(78.9%)行っているようです【グラフ9】。また、主婦たちの8割以上が「お掃除は家族が快適に過ごすため」(非常にあてはまる23.0%+ややあてはまる59.9%=82.9%)と答えています【グラフ10】。家族のために自分ひとりで家庭のお掃除を担っている主婦たち。「掃除は自分だけでなく家族にも参加してもらいたい」(非常にあてはまる30.6%+ややあてはまる49.5%=80.1%)と思うのは本音と言えます【グラフ11】。

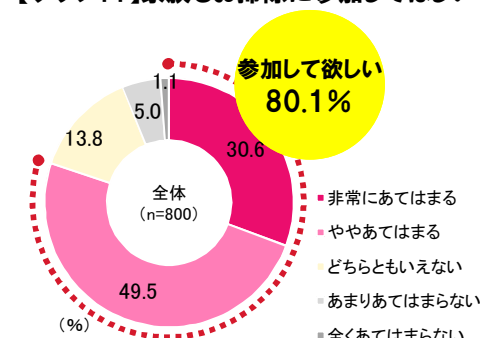
【グラフ9】家庭でのお掃除の担い手



【グラフ10】お掃除は家族のため



【グラフ11】家族もお掃除に参加してほしい



■ほとんど自分がしており、家族がすることはほとんどない
 ■主に自分が担当しているが、ときどき家族が手伝う
 ■主に自分が担当しているが、部分的に家族が分担している
 ■主に他の家族が担当し、自分が手伝っている
 ■特に自分が主体ではなく、家族と分担して行っている

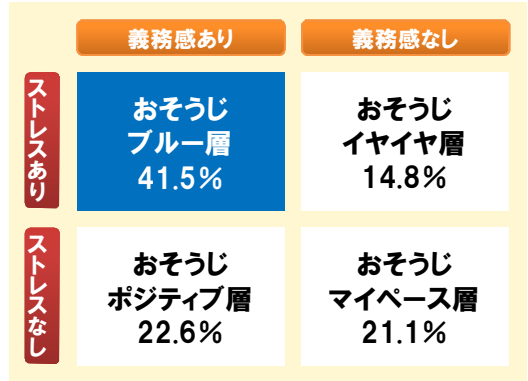
主婦を襲う「おそうじブルー」とは？



■全体の4割！お掃除に義務感を抱き、することにストレスを感じる「おそうじブルー」層

本当はお掃除への責任感が高く、家族のためにお掃除をがんばる、健気な主婦たち

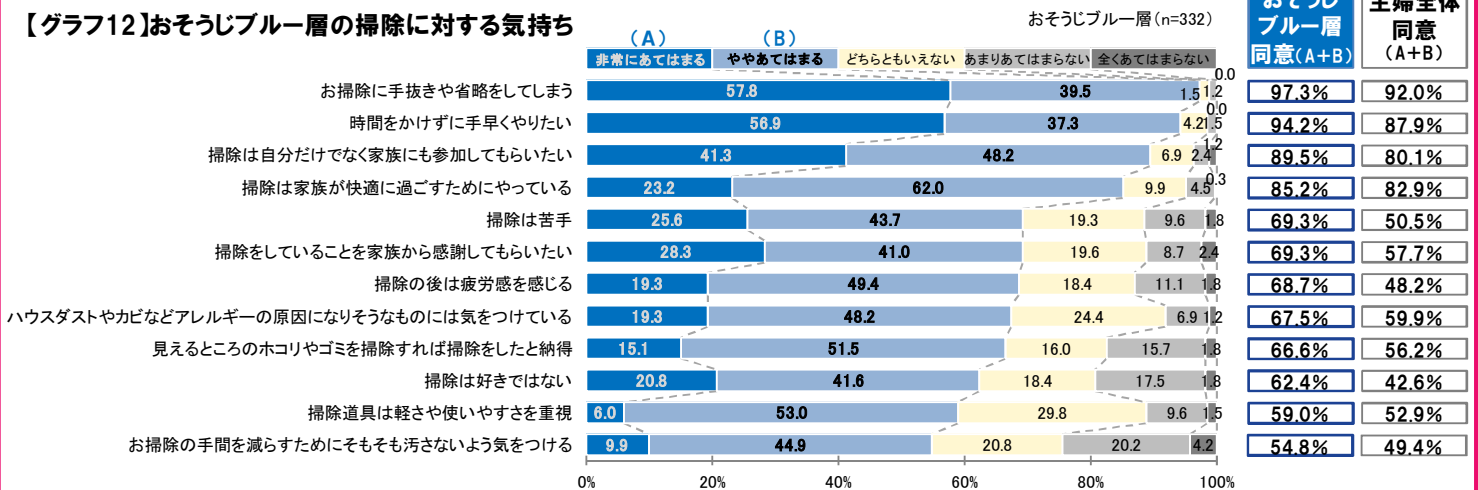
お掃除に関する意識で「義務感あり・なし」「ストレスあり・なし」と2つの設問を用いて全体を4区分しました。その場合の最大の人数を占めたのがお掃除に「義務感あり」「ストレス有り」と回答を行ったを主婦たちで、全体の41.5%も存在することが判明、彼女たちを「おそうじブルー」と命名し、その特徴を探ってみました。



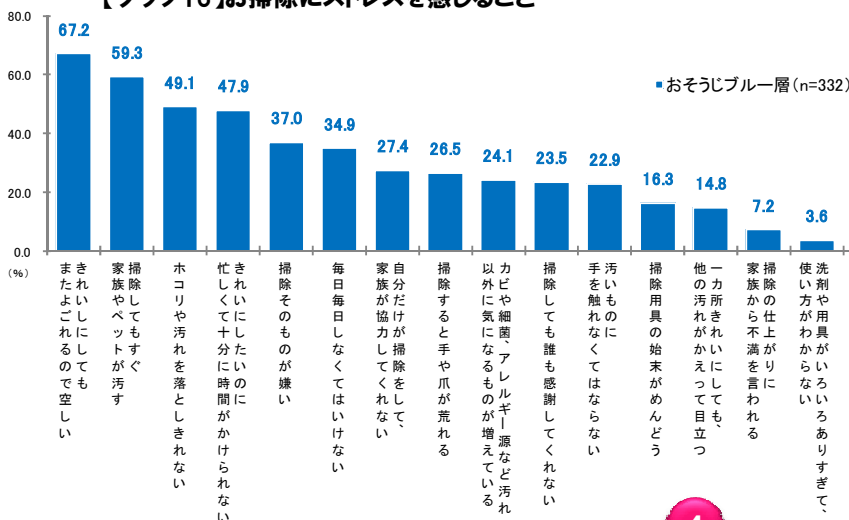
「おそうじブルー」層は全体に比べ、お掃除が「好きではない」(62.4% > 全体42.6%)、「苦手」(69.3% > 全体50.5%)と感じ、終わった後は「疲労感」(68.7% > 全体48.2%)をより強く感じています。また「時間をかけずに手早くやりたい」(94.2% > 全体87.9%)と望むため、「使いやすい」(59.0% > 全体52.9%)道具を選ぶ傾向があります。また「見える範囲の掃除で納得しがち」(66.6% > 全体56.2%)【グラフ12】で、お掃除を簡単にすませたいと感じているようです。その理由には、「またすぐよごれるので空しい」(67.2%)、「すぐに家族やペットが汚す」(59.3%)などが影響していると思われ【グラフ13】。一見、おそうじブルー層はお掃除が嫌いで手抜きするズボラ主婦と見られてしまいがちですが、「家族が快適に過ごすために」(85.2% > 全体82.9%)お掃除を行い、「アレルギーの原因になりそうなものに気をつける」(67.5% > 全体59.9%)ています。そもそも「汚さないように」(54.8% > 全体49.4%)工夫するなど、全体に比べ意識は高め【グラフ12】。手抜き掃除後に「後悔や不快感を感じる」(47.1% > 全体38.6%)など【グラフ14】、お掃除への責任感が非常に高いことがわかります。

「おそうじブルー」層は、お掃除をしていることを「家族から感謝されたい」(69.3% > 全体57.7%)と思い、「家族にも参加してもらいたい」(89.5% > 全体80.1%)と願っています【グラフ12】。「おそうじブルー」な主婦たちは、苦手なお掃除をストレスと感じながらも毎日やらなければいけないことと、日々お掃除に向かい合う健気な人たちです。

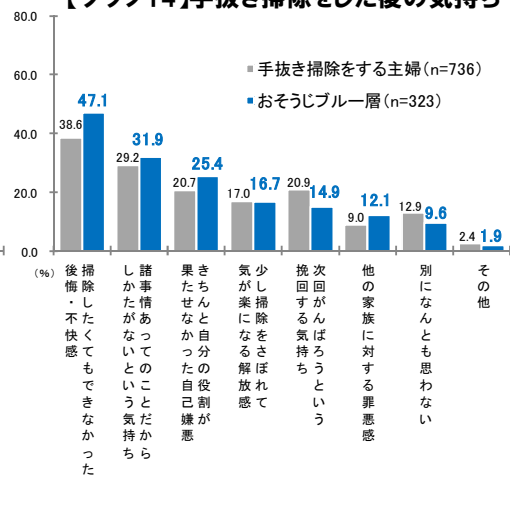
【グラフ12】おそうじブルー層の掃除に対する気持ち



【グラフ13】お掃除にストレスを感じること



【グラフ14】手抜き掃除をした後の気持ち



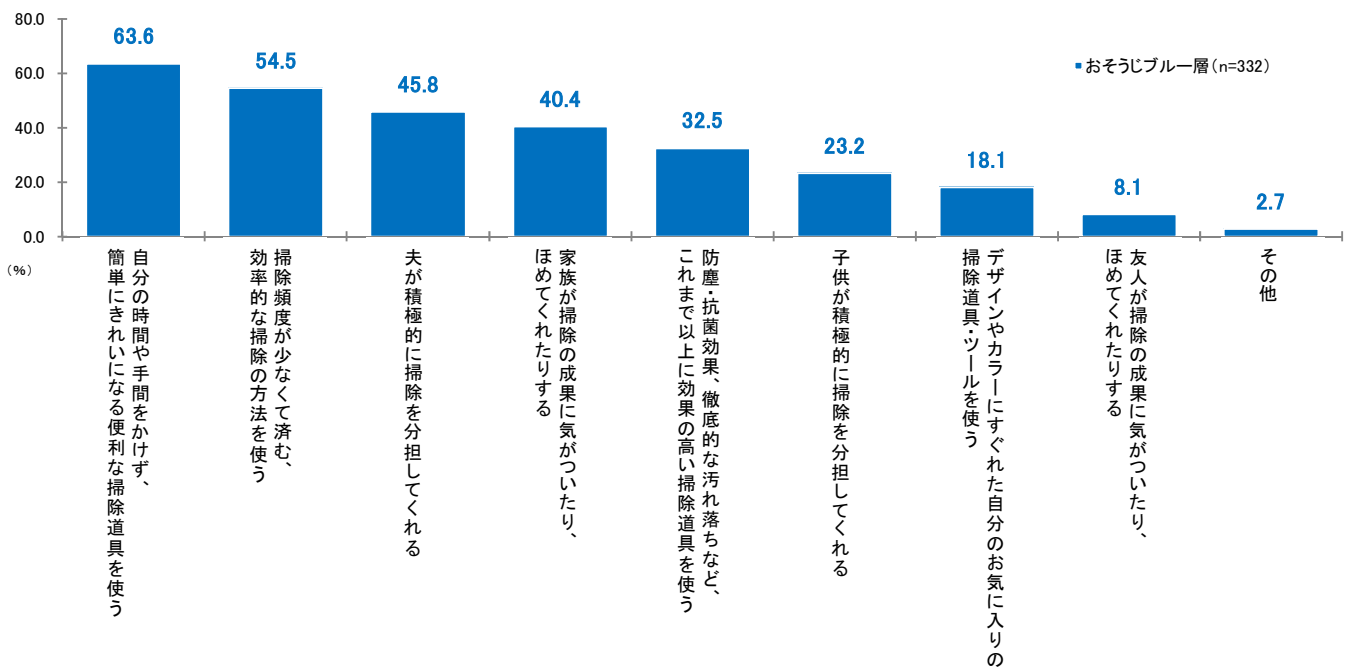
■「時間をかけずに簡単、きれいになるお掃除道具」や「効率的な方法」、

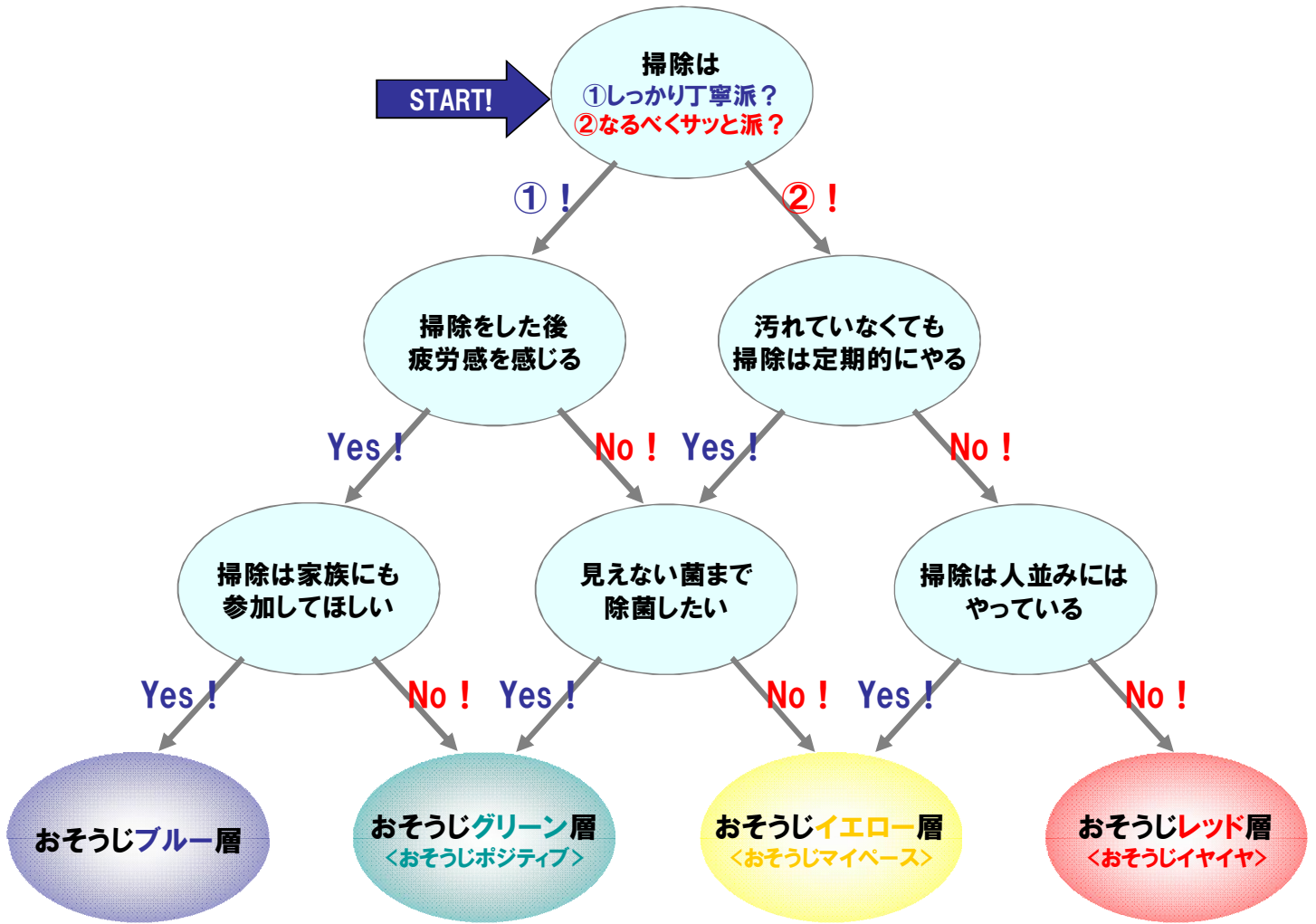
そして「家族のお掃除参加」などお掃除環境の整備が、「おそうじブルー」な主婦を救う糸口に

「おそうじブルー」の状態にある主婦たちに、どんなことがあればお掃除気分が上がるか聞いてみると、「自分の時間や手間をかけず、簡単にきれいになる便利な掃除道具を使う」(63.6%)、次いで「掃除頻度が少なくて済む、効率的な掃除の方法を使う」(54.5%)、「夫が積極的に掃除を分担してくれる」(45.8%)、「家族が掃除の成果に気がついたり、ほめてくれたりする」(40.4%)の順となっています【グラフ15】。

「簡単にきれいになる掃除道具の活用」や「掃除方法の改良・改善」に加えて、主婦たちが望んでいる家族の参加も重要な要素です。家族がお掃除に進んで参加するハードルを下げるためにも、お掃除道具や掃除方法の活用など「お掃除環境の整備」が、主婦たちをおそうじブルーから救う糸口となりそうです。

【グラフ15】お掃除気分が上がること





おそうじブルー層

お掃除への義務感、ストレスと疲労感に苦しみつつも、真面目に一人で抱え込む

おそうじレッド層

お掃除は好きでも得意でもなく、義務でもなくストレスもあることから、最低限で済ませたい

おそうじグリーン層

お掃除好きゆえストレスなく、義務も積極的に引受けつつ、いつも完璧にこなす

おそうじイエロー層

お掃除はそれなりに好きだが、あまり細かなことは気にせず、マイペースにこなす